

令和4年度 学校保健統計調査結果報告（広島県分）の概要について

学校保健統計調査は、学校における幼児、児童及び生徒（以下「児童等」という。）の発育及び健康の状態を明らかにすることを目的として、文部科学省が毎年実施しているものである。

この報告書は、文部科学省が取りまとめた調査の結果（令和5年11月28日公表）のうち広島県分を取りまとめたものである。

1 調査の対象

調査の対象は、幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校及び高等学校のうち、文部科学大臣があらかじめ指定した学校（以下「調査実施校」という。）であり、調査実施校に在籍する満5歳から17歳（令和4年4月1日現在）までの児童等の中から、発育状態調査については、文部科学省が指定する抽出方法により一部の児童等を対象とし、健康状態調査については、調査実施校に在籍する児童等全員を対象とした。

広島県における全児童等に対する調査対象児童等の抽出率は、発育状態調査が4.8%（14,330人）、健康状態調査は24.8%（74,808人）となっている。

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高等学校	計	【参考】 全国の抽出率
在学者数(a)		11,690人	146,474人	76,235人	67,135人	301,534人	
発育	調査対象者数(b)	1,280人	5,680人	4,600人	2,770人	14,330人	695,600人
	抽出率 (b)／(a)	10.9%	3.9%	6.0%	4.1%	4.8%	5.4%
健康	調査対象者数(c)	1,903人	31,715人	18,626人	22,564人	74,808人	3,220,411人
	抽出率 (c)／(a)	16.3%	21.7%	24.4%	33.6%	24.8%	24.8%

- (注) 1 幼稚園には幼保連携型認定こども園を、小学校には義務教育学校（第1～6学年）を、中学校には義務教育学校（第7～9学年）及び中等教育学校の前期課程を、高等学校には中等教育学校の後期課程をそれぞれ含む。（以下同じ）
- 2 在学者数は、令和4年度学校基本調査の結果による。なお、幼稚園については、5歳児の幼児数としている。また、高等学校については、4学年、専攻科及び通信制の生徒数を除いている。

2 調査事項

学校保健安全法による健康診断の結果に基づき、児童等の発育状態（身長、体重）及び健康状態（疾病・異常等の有無）を調査

3 調査の実施時期

令和4年4月1日から令和5年3月31日の間に実施

4 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う対応

令和4年度については、令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年4月1日から6月30日に実施される健康診断について当該年度末までに実施することとなったため、学校保健統計調査においても調査期間を年度末まで延長した。

このため、本集計結果は、成長の著しい時期において測定時期を異にしたデータを集計したものであり、過去の数値と単純比較することはできない。

5 調査結果のポイント

(1) 発育状態調査

身長（平均値）

- ・ 全国と比較すると、男女ともに全ての年齢で全国を下回っている。
- ・ 推移をみると、男女ともに平成に入ってから、おおむね横ばい傾向となっている。

体重（平均値）

- ・ 全国と比較すると、男子は全ての年齢で、女子は8歳、12歳、13歳及び17歳を除く各年齢で全国を下回っている。
- ・ 推移をみると、男女ともに平成に入ってからおおむね横ばい傾向となっている。

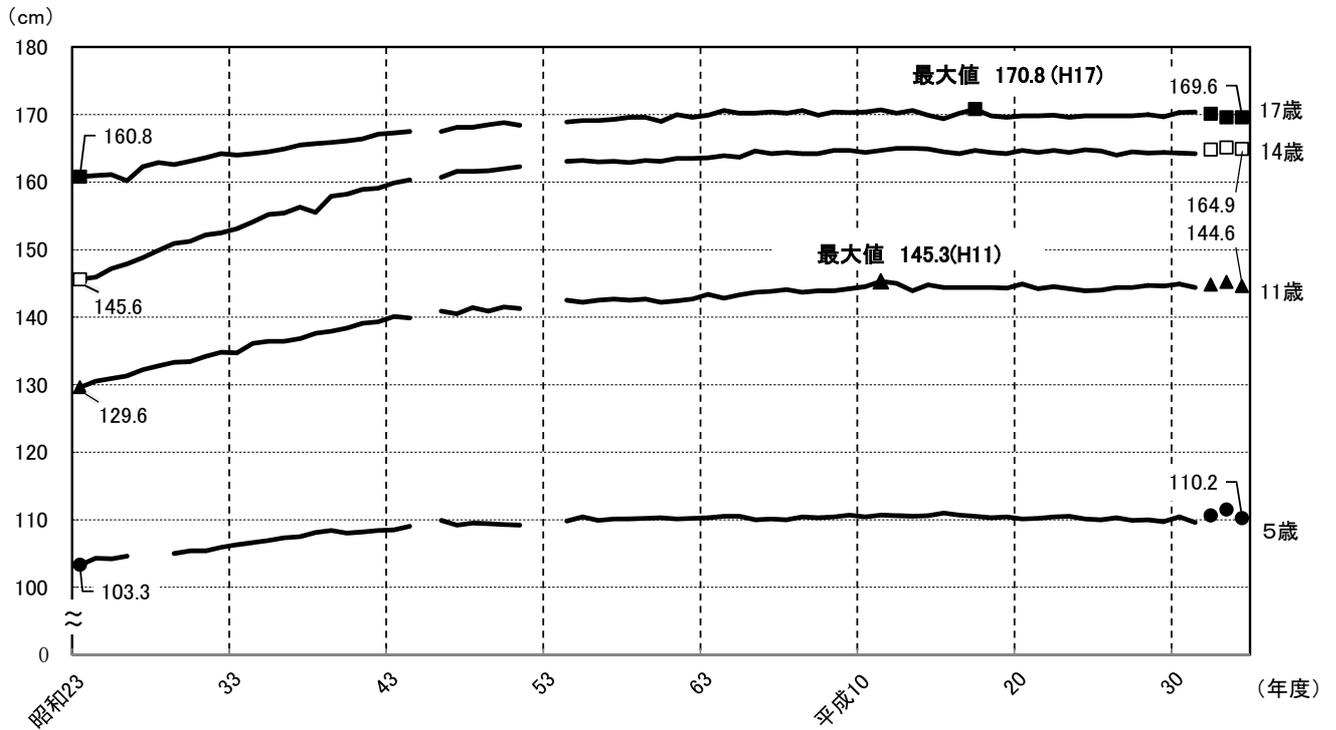
表1 年齢別 身長・体重（全国との比較）

区 分		男 子						女 子					
		身 長 (cm)			体 重 (kg)			身 長 (cm)			体 重 (kg)		
		広島県	全国		広島県	全国		広島県	全国		広島県	全国	
		A	B	差 A-B	A	B	差 A-B	A	B	差 A-B	A	B	差 A-B
幼稚園	5歳	110.2	111.1	△ 0.9	19.0	19.3	△ 0.3	109.5	110.2	△ 0.7	18.8	19.0	△ 0.2
小学校	6歳	115.5	117.0	△ 1.5	21.2	21.8	△ 0.6	115.1	116.0	△ 0.9	20.8	21.3	△ 0.5
	7	121.9	122.9	△ 1.0	24.4	24.6	△ 0.2	121.2	122.0	△ 0.8	23.8	24.0	△ 0.2
	8	127.3	128.5	△ 1.2	27.5	28.0	△ 0.5	127.5	128.1	△ 0.6	27.4	27.3	0.1
	9	133.4	133.9	△ 0.5	31.3	31.5	△ 0.2	133.3	134.5	△ 1.2	30.8	31.1	△ 0.3
	10	138.7	139.7	△ 1.0	35.6	35.7	△ 0.1	140.3	141.4	△ 1.1	35.0	35.5	△ 0.5
中学校	11	144.6	146.1	△ 1.5	38.7	40.0	△ 1.3	147.1	147.9	△ 0.8	40.4	40.5	△ 0.1
	12歳	153.0	154.0	△ 1.0	45.3	45.7	△ 0.4	151.5	152.2	△ 0.7	44.5	44.5	0.0
	13	159.7	160.9	△ 1.2	50.1	50.6	△ 0.5	154.3	154.9	△ 0.6	47.7	47.7	0.0
高等学校	14	164.9	165.8	△ 0.9	54.6	55.0	△ 0.4	155.9	156.5	△ 0.6	49.7	49.9	△ 0.2
	15歳	167.2	168.6	△ 1.4	58.4	59.1	△ 0.7	156.5	157.2	△ 0.7	51.0	51.2	△ 0.2
	16	169.4	169.9	△ 0.5	60.1	60.7	△ 0.6	156.2	157.7	△ 1.5	51.0	52.1	△ 1.1
	17	169.6	170.7	△ 1.1	61.9	62.5	△ 0.6	156.9	158.0	△ 1.1	52.5	52.5	0.0

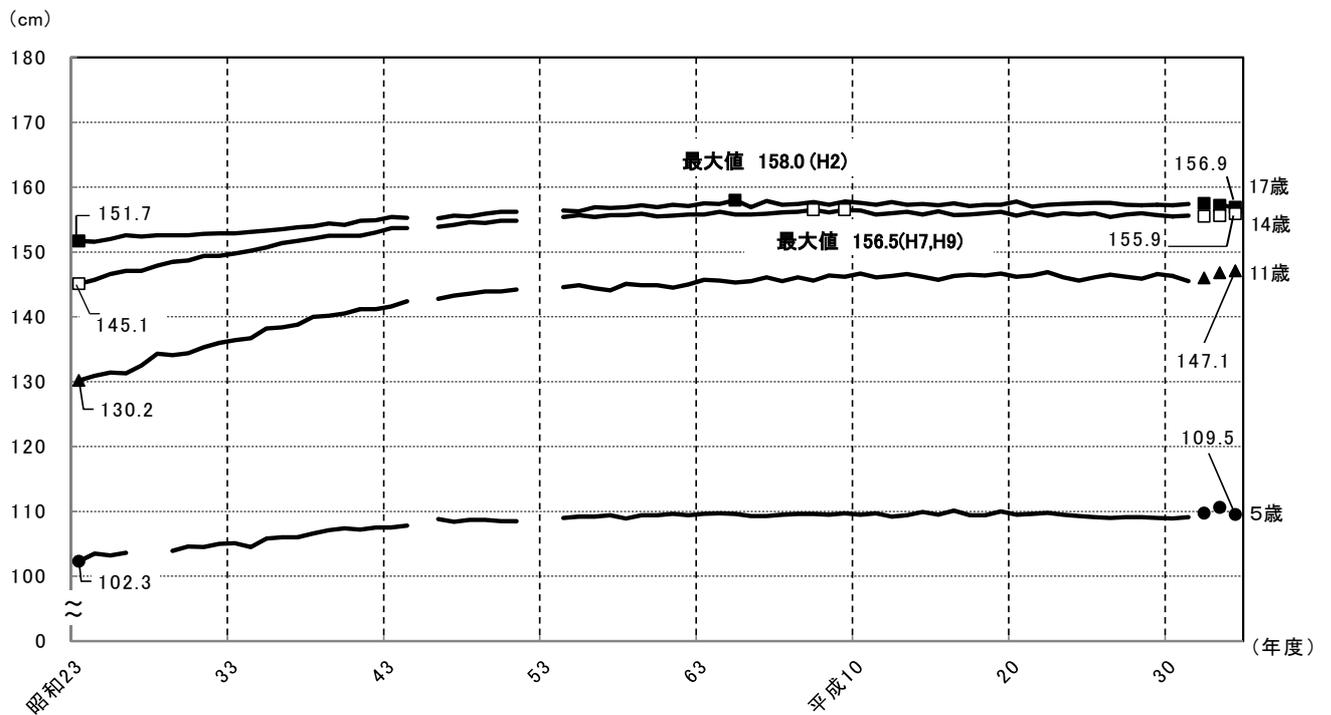
- (注) 1 年齢は、各年4月1日現在の満年齢である。（以下同じ）
 2 「△」は減少を示す。（以下同じ）
 3 令和2年度、令和3年度に引き続き、令和4年度の数値については、いずれの項目も調査時期の影響が含まれるため、令和元年度までの数値と単純な比較はできない。

図1 身長推移

男子



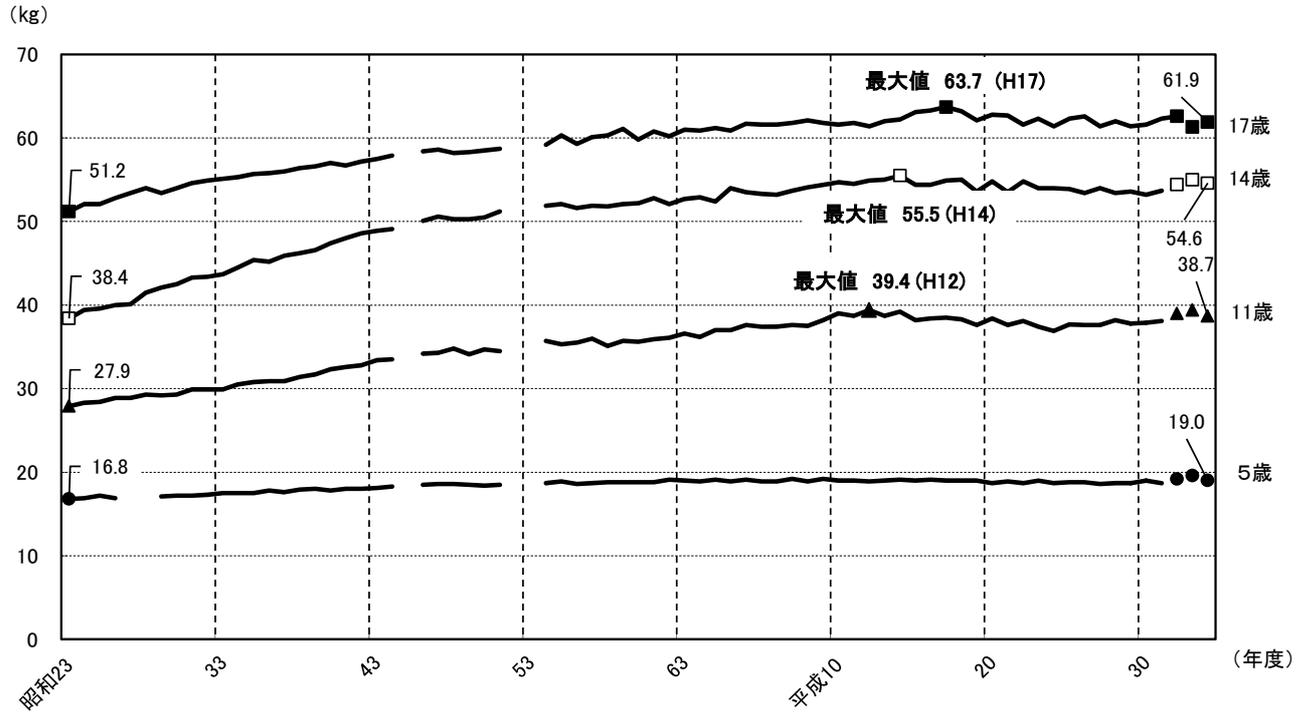
女子



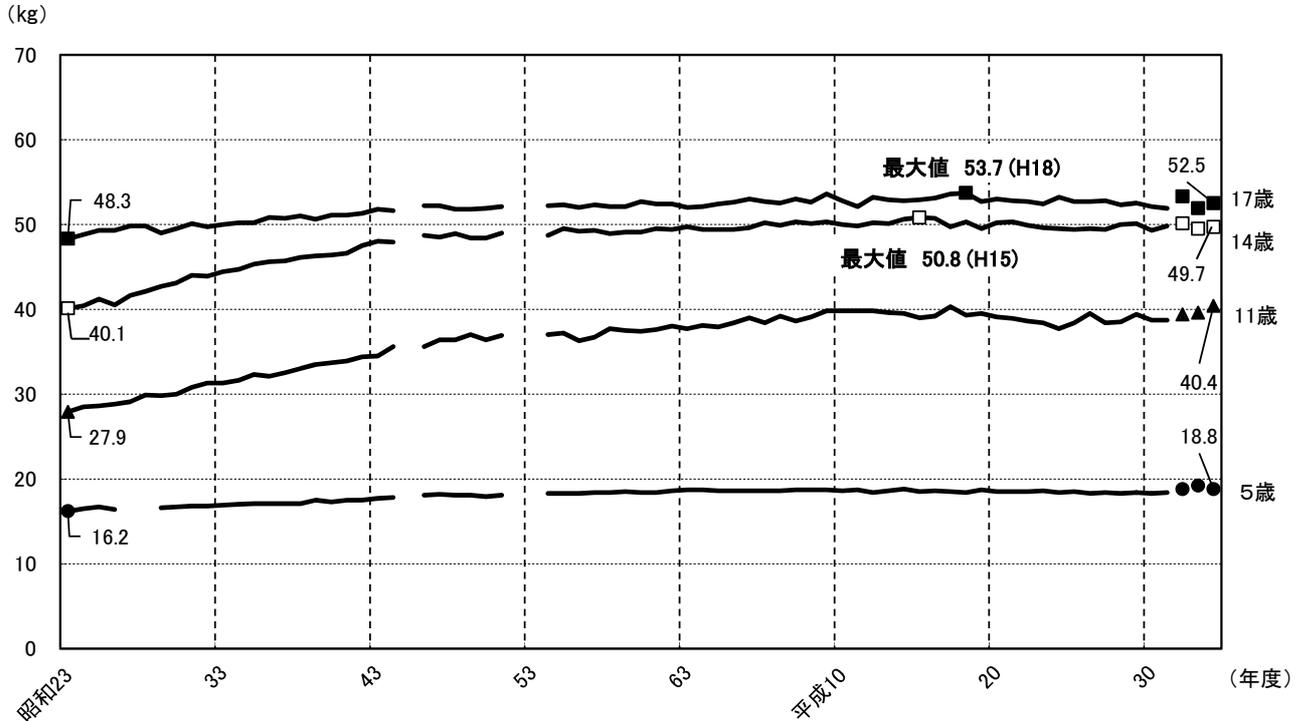
- (注) 1 5歳については、昭和27年度及び昭和28年度は調査していない。
 2 各年齢において、昭和45年度、昭和52年度及び昭和53年度については、国が集計方法を変更したため、各都道府県別の数値を集計していない。
 3 令和2年度、令和3年度に引き続き、令和4年度の数値については、いずれの項目も調査時期の影響が含まれるため、令和元年度までの数値と単純な比較はできない。

図2 体重の推移

男子



女子



- (注)
- 1 5歳については、昭和27年度及び昭和28年度は調査していない。
 - 2 各年齢において、昭和45年度、昭和52年度及び昭和53年度については、国が集計方法を変更したため、各都道府県別の数値を集計していない。
 - 3 令和2年度、令和3年度に引き続き、令和4年度の数値については、いずれの項目も調査時期の影響が含まれるため、令和元年度までの数値と単純な比較はできない。

(2) 健康状態調査

(ア) 主な疾病・異常の被患率等

・ 疾病・異常を被患率等別にみると、数値が非公表である幼稚園の「裸眼視力 1.0 未満の者」を除き、どの学校種においても、「裸眼視力 1.0 未満の者」、「むし歯（う歯）」の者（処置完了者を含む。以下同じ。）及び「鼻・副鼻腔疾患」の者の割合が高くなっている。

表 2 学校種別 疾病・異常の被患率等の上位

(単位：%)

学校種	順位	疾病・異常等	割合	学校種	順位	疾病・異常等	割合
幼稚園	1	むし歯(う歯)	22.1	中学校	1	裸眼視力1.0未満の者	65.2
	2	鼻・副鼻腔疾患	6.0		2	むし歯(う歯)	25.2
	3	歯列・咬合	4.7		3	鼻・副鼻腔疾患	8.6
	4	耳疾患	3.3		4	歯列・咬合	6.4
	5	蛋白検出の者	2.8		5	眼の疾病・異常	5.3
小学校	1	裸眼視力1.0未満の者	40.1	高等学校	1	裸眼視力1.0未満の者	62.0
	2	むし歯(う歯)	35.0		2	むし歯(う歯)	33.1
	3	鼻・副鼻腔疾患	10.5		3	鼻・副鼻腔疾患	8.7
	4	歯・口腔のその他の疾病・異常	5.7		4	蛋白検出の者	5.5
	5	その他の疾病・異常	4.9		5	歯垢の状態	4.4

(イ) 主な疾病・異常等の全国との比較

・ 「裸眼視力 1.0 未満の者」の割合は、小学校及び中学校で全国を上回っている。
 ・ 「むし歯（う歯）」の者、「アトピー性皮膚炎」の者及び「ぜん息」の者の割合は、全ての学校種別で全国を下回っている。
 ・ 「蛋白検出の者」の割合は、全ての学校種別で全国を上回っている。

表 3 学校種別 主な疾病・異常の被患率等（全国との比較）

(単位：%)

区分	裸眼視力 1.0未満の者		眼の疾病・異常		耳疾患		鼻・副鼻腔疾患		歯・口腔					
									むし歯(う歯)					
	広島県	全国	広島県	全国	広島県	全国	広島県	全国	計	処置完了者	未処置の歯のある者			
幼稚園	X	24.95	0.4	1.27	3.3	2.36	6.0	3.03	22.1	24.93	9.3	10.05	12.9	14.88
小学校	40.1	37.88	4.3	5.28	4.8	6.60	10.5	11.44	35.0	37.02	18.9	19.32	16.1	17.70
中学校	65.2	61.23	5.3	4.95	3.4	4.76	8.6	10.70	25.2	28.24	13.3	16.80	11.9	11.43
高等学校	62.0	71.56	4.1	3.58	2.7	2.25	8.7	8.51	33.1	38.30	19.9	23.79	13.2	14.51

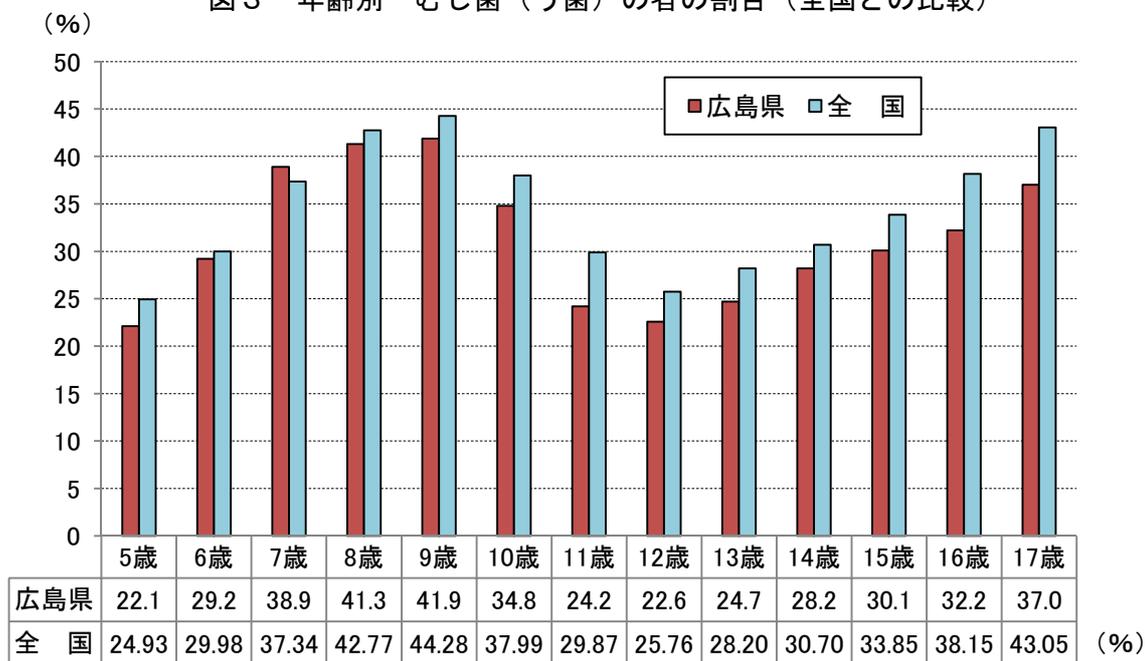
区分	歯・口腔						アトピー性皮膚炎	心電図異常	蛋白検出の者	ぜん息				
	歯列・咬合		歯垢の状態		歯肉の状態									
	広島県	全国	広島県	全国	広島県	全国								
幼稚園	4.7	4.30	1.4	1.06	0.0	0.28	0.8	1.62	2.8	0.87	0.3	1.11
小学校	4.7	4.63	3.0	3.15	2.0	1.80	2.4	3.14	3.4	2.55	1.5	0.98	1.6	2.85
中学校	6.4	5.30	4.2	3.97	3.7	3.45	2.7	2.96	4.0	3.15	4.3	2.90	1.7	2.23
高等学校	3.0	4.57	4.4	4.23	4.3	3.88	2.5	2.68	3.1	3.03	5.5	2.83	1.3	1.71

(注) 1 心電図異常については、6歳、12歳、15歳のみ実施している。
 2 「X」は、非公表であることを示す。
 3 全国の数値は少数点第2位まで、広島県の数値は小数点第1位までを表章している。(以下同じ)

(ウ) むし歯（う歯）の状況

・ 「むし歯（う歯）」の者の割合は、9歳が最も高く41.9%、次いで、8歳が41.3%となっている。全国と比較すると、7歳を除く全ての年齢で全国を下回っている。

図3 年齢別 むし歯（う歯）の者の割合（全国との比較）



この報告書の内容は、文部科学省及び広島県のホームページでも提供しています。

「学校保健統計調査」及び「広島県学校保健統計調査」で検索してください。

文部科学省 https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa05/hoken/1268826.htm

広島県 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/toukei/gakkohokentoukeityousa.html>

問い合わせ先 広島県総務局統計課 消費経済・教育統計グループ 電話 082-513-2534（ダイヤルイン）



政府統計